

New Hope

～札幌ペンテコステ教会ニュース～

2013年8月

オレだけど……

「あ、母さん？ オレだけど。ちょっと相談に乗ってくれるかな。友達が会社をやっているんだけど、今月資金繰りが厳しくてね、少し助けてくれないかって言われたんだ。来月にはまとまった入金があるから、それまでの『つなぎ資金』だけで十分だって言うんだけど。300万円ほど、何とかなる？」

札幌ペンテコステ教会

主任牧師 矢巻 邦彦

札幌市中央区南 14 条西 18 丁目 4-5

TEL&FAX 011-561-5072

<http://sapporopk.com/>

ある日突然、こんな電話がかかってきたらどうでしょうか。「これって、本当に息子からの電話？ 詐欺じゃない？」よくよく確認してみる必要がありますね。『善意の人助け』の気持ちを逆手に取って、人を騙す……。募金と称して道行く人たちからお金を集めて私腹を肥やす人もいるようで、世の中油断がなりません。

人は死後どうなるのか



仏壇を整えて、墓所を構えて、お彼岸やお盆にお参りして……。誰のためにそうするのでしょうか。亡くなった方の霊がそこに居るのでしょうか。天国にいるその方の霊への窓口となっているのでしょうか。仏前あるいは墓前で心を込めて祈ることで、亡くなった方が浮かばれるのでしょうか。

人間は誰でも母親から生まれ、年を重ね、やがて死んでいきます。これは世界中どこに住んでいようが、どのような思想信条を持っていようが、変わらない事実です。それと同様に、人が死んだ後どうなるのかについて、国や民族や考え方によって異なるということはありません。

何を拝んでいるのでしょうか

「亡くなったおばあちゃんは、いつもわたしたち家族を見守ってくれているんだ」——たとえ固く信じていたとしても、事実がそうである保証はありません。

聖書によれば、人が死ぬとその魂は肉体を離れ、人の世に関わりを持つことができなくなります。呪うことも助けることも見守ることもできません。墓前で拝むその先に亡くなった方の霊が存在するわけではないのです。でも、呪いの何かとか、おじいちゃんが夢に出てきてとか、そういう類の話が時折聞かれることと思います。そこで暗躍してい

るのは、亡くなった方とは全く関係のない霊的な存在です。「オレだけど……」と騙って人をだますのと同様に、亡くなった方のかたって人間をだます存在なのです。もしも「たたり」や「ばち」のような事があった場合には、これらの存在が引き起こしているのです。聖書では、このような存在を『悪霊(あくれい)』と呼んでいます。

悪霊は拝まれて喜ぶ

悪霊は、拝まれることを好みます。そのため、巨木、巨岩、山、墓地、記念碑などに居着いて、人々がそれに向かって(知らずに悪霊に向かって)拝むのを見て喜んでいきます。人々は、亡くなった方々を偲んで、大事に思って拝んでいるつもりなのですが、その善意を逆手に取って、悪霊が気分よく過ごすために利用しているのです。

あなたの善意が踏みにじられて悪用されるのを放置して良いのでしょうか。いざという時のために貯めておいたお金を悪人の無駄遣いのために奪われてしまうのと同様に、とても悔しいことなのではないでしょうか。そして、それら悪霊に知らずに仕えていると、あなたにも、あなたの家族にも、災いが来ることはあっても、本当の幸いが来ることはないのです。

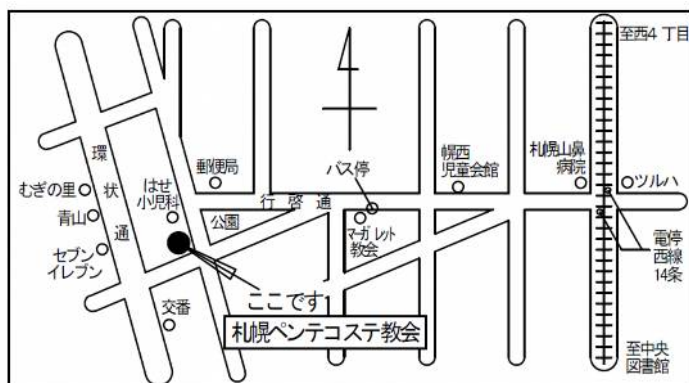


あなたが拝み大切にしているものはどういう存在なのか、今一度じっくり考えてみませんか。単なる習慣としてだまされ続ける生活から抜け出しませんか。

教会の定期集会のご案内

- GP クラブ 子どものためのプログラムです。(毎週日曜日 あさ 9:00~10:00)
- 聖日礼拝 聖書を通じて神さまを知ります。(毎週日曜日 あさ 10:30~12:00)
- 祈り会 神さまを賛美し祈り新たな力を受けます。(毎週木曜日 よる 7:00~8:30)

どの集まりも参加自由、入場無料です。それぞれ、自由献金の時間がありますが、「感謝の気持ちをささげる」ためのもので、各自の自由です。



教会のホームページ

<http://sapporopk.com/>

NewHope のバックナンバーを読んだり、教会の様子を見たりすることができます。

西 4 丁目電停から市電にて
西線 14 条下車

JR 札幌駅札幌ターミナルから、
JR 北海道バス啓明線[51]にて
南 14 条西 17 丁目下車